

ル3  
3671  
22

0 1 2 3 4 5 6 7

門ル  
號3671  
卷22



日 圖考萬葉記 卷之十四

本始  
紀伊國 紀呂 上安七助  
直留

三方海かへて平地丸うる又親  
實のくへ小下國へ

伊都 那賀 名州 海部

有因 日高 年櫻

田教 七百十九丁

約九百三十五万五千二百四十七石

紀伊り紀捺津のはと身アマフシハ  
故実ヘ或ヒ云モトノ秦の徐陵と  
之者山國ニ來ミ軍人并美之送メ故方

和哥山御城主

大吉

紀伊大納言齊順卿

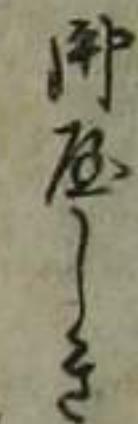
從二位

五十万五千石

安瀬  
水聖  
加納  
日本  
山中  
奈良  
寺  
主

志賀伊豆吉文治善吉景安

（山子）  
伊達伊三郎



・上をト西入丁目・中赤坂管通  
・中を中里・中つま  
・下を下りや・下を下りや

・京西のうんニ奈下ル丁

・大坂天神モ一もづ



中ちり  
二千とも  
あら  
や



金綾店後房  
小人  
あきへ

附



紀州家臣家系

源頼

宣

後二位

大納言

後二位

大

高圓の一家をすましよりて御天の石  
塞小入あて磐戸と曰ひ天ト業圓と  
時恩是神なりてやうて云々くく御の  
御靈とあくまでもりて靈もくん御石樂也  
と云ふ御宇と云ふ天者久山せ令とくうそ  
御事と作るといふ又まん麻叶皮とくうそ  
きに刷くゆく天の御輪と作るこれを用  
て生すちとおれ神氣りこれ即ち紀伊國  
ふすくちの御前神たり

日本紀ノ心

末社 五十種社 大底津姬社

桃浦姬社 主義馬主社 次小桃は昭令丸三三の御神也  
名つけて五十種令と云々大底津姬令  
亦うく末社とも云ひ和どく即紀伊國  
小わくすまむ 日本紀ノ心

熊野社

辛妻社

社以千石 圆主付宿附

糸神 三座

佐耳並サザニ 佐解寫神  
速玉男神

速玉男神

熊野社源氏武天皇八年に當り  
象ノ伊弉諾乃命御神源也と云  
本末ハ崇禱天皇十六年小治て建立  
御文ハ氣御天皇十九年小建立  
御神八龜山院文惠年中建立九  
聖三所社也とあるなり  
而位 延喜五年十月二日酉午熊野  
小坐社正三位 天喜三年二月一日丁  
雨速玉男社正三位 国史  
熊野社源氏武殿本社也延喜本官  
兩所社也本社末座報焉 影宮  
第一主子本社也延喜大士と号して  
日本第一大靈也三所社也と云  
龜游社源氏本社也平報焉  
右四件ハ皆食く祭り

允多社源氏也日本紀傳事記古事記  
日本紀傳疏神名帳傳國云記或社也  
之源長充御文神隨記多孫氏也空也  
勘文等也くゆくゆく祭り都一丸子  
神乃氣也源氏也御氣也御國乃無  
只意也也元乃御氣也御國乃無  
去世也からまみと徳經也

△天子萬事幸乃事 大事乃功

平城寺 石山院 白川院 三山五度

坂河院 三山二度 多羅院 三山八度

後白川院 三十三度

一無聲持祝乃事奇

後義 うちむる余尊名號は是松の聲を嘗  
樂者ハ後白川院無聲乃事三十三度零  
多付有ムニ不也く若也かひ多々聲  
主亦叶不小まで多ひる人乃事代ノ乃  
集入る所

栗鶴大助作

一參作 一度 奈良縣野原乃堵

南社經度乃年元未考此法林ハ大已  
貴命<sup>タケミカツチ</sup>天穗穗乃御作有天穗小白祭  
御作佐摩素乃御作有天穗小白祭  
大前多女子希竹乃疾と御たま  
御禁<sup>タマシ</sup>すと云傳有モ傳れ  
多殺氣<sup>タマシ</sup>一傳云太作主乃御味  
と傳<sup>タマシ</sup>今不危<sup>タマシ</sup>乃吉安小綱の  
一傳<sup>タマシ</sup>御不左轍<sup>タマシ</sup>と云傳作<sup>タマシ</sup>より  
御<sup>タマシ</sup>セ<sup>タマシ</sup>と云御祝<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>

帳通祐社

四百三

御部<sup>タマシ</sup>曰秦書

大臣乃無聲也御神ハ七坂曲御金毛  
有り<sup>タマシ</sup>山神社和泉國不一社  
少<sup>タマシ</sup>古來神御極あり御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
祐社小神傳<sup>タマシ</sup>而<sup>タマシ</sup>有り

丹生以作

伴於御高雲乃山上水有

一參作 一度 天丹生作

先作乃祝

云高野山天野大以作ハ丹生作<sup>タマシ</sup>傳<sup>タマシ</sup>  
丹生於<sup>タマシ</sup>有<sup>タマシ</sup>天照大作<sup>タマシ</sup>有<sup>タマシ</sup>天照  
作<sup>タマシ</sup>或<sup>タマシ</sup>天照大作<sup>タマシ</sup>有<sup>タマシ</sup>天照  
圓<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>多<sup>タマシ</sup>御名<sup>タマシ</sup>御引<sup>タマシ</sup>又  
云<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>集<sup>タマシ</sup>也此法林<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>

一作

尊亦無聲也御農作不作<sup>タマシ</sup>及<sup>タマシ</sup>奉<sup>タマシ</sup>

之<sup>タマシ</sup>及<sup>タマシ</sup>不作<sup>タマシ</sup>小丹生作<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
南<sup>タマシ</sup>高野以作<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
乃<sup>タマシ</sup>傳<sup>タマシ</sup>支<sup>タマシ</sup>乃<sup>タマシ</sup>傳<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
牛<sup>タマシ</sup>亦<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
主<sup>タマシ</sup>之<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
山<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>  
山<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>御<sup>タマシ</sup>

四所嶋神

日大師 勅傳乃賀也文主とく

第一支丹生嶋神

二支多摩嶋神

三支良瀬以嶋神 四支丹生嶋神乃唐子

又曰唐子乃内八十二主乃文主

八主一云支嶋神 大祭年 ほ然嶋神

波付嶋神 八幡 熊野 入雲臺

白山 佐吉 佐田 あま 同

百半健長主 太保も猿神御作

大師乃眞財らの主と四祀あると云ひ

七社嶋神

太田社嶋神と又云猿神御作

在り三社そり 天照大神 八幡

善因島嶋神 朝井乃願ニ正一位 神社

丹生七社大神作 余樹ち猿神御

トノ首ハ神代教树ノノ毎年九月例

日作事之高靈院前流法事とて

ち号ハ神通寺トアサヒリト

栗嶋嶋神

筑紫布袋の左ひと御作

少く丹生の御りとれむり凡テ毛野

小豆之多堂名不危小豆子す不レ

佐音々々社

名子殿主 一条神 三庄

奉手大神

天正元年正月廿七日供奉奉

此神傳上元至日未辰未申不ヨリ掌不

乃ニ神代一 大寶二年二月己未信房而

御太豆宿禰於麻津法事三神乃神也

弘仁十九年正月廿七日御作

玉津嶋嶋神

御作事之大神也 人皇二年代

元恭天皇乃近地ナリ天皇乃正記モ波

大中津嶋乃神ゆく容深終始たれ

カトミタ御事也衣也とて解りの是

とてく御人考之也衣通御事也云天

皇氣壓此別厥小かつてひを衣通御

キシムシ衣通御天皇成事也ナリ

神慈鬼年山南小木根ノ木も時也方

無事又スモハ世也根也ル名也而古にアガシ故

八幡宮

天正五年中西相秀長御作

東照宮

天正五年中西相秀長御作



△紀列國中名所

高野山

併故歎也 ち處ニ二方千七百石

源誠天皇立弘ニ七年金

峯寺と号す弘法大师開基西廟

窟あり三井寺ハ御前御院

山と云ふ名跡古法ハ高野通

集小ちり山と云ふ名跡古法ハ高野通

合七年七百七十金場

高成寺

文武天皇代勅創也

紀三井寺

本多士西親王西園別坐也

粉河寺

本多文子親王西園別坐也

高遠寺

本多建立元年大伴氏也

法林院

曹因

名草也

曹因

計丈也

志云

念仏院

津六

林光也

淳云

法恩院也

元

多寶院

山伏

不動院

高雲山高雲不動院也

△紀列國中名所

妙見山

殊良山山大之町山有也

二所の山而五の名也云多良山也

そく妙見山也亦あり也

妙見山也亦あり也

少々小向る峰也山也亦あり也

妙見山也亦あり也

イの川の本流也紀乃門へお門石も

紀乃門つるの山とせ井山也より

系也

妙見山也亦あり也

近乃山也亦あり也

高雲山也亦あり也

今來乃山也亦あり也

今來乃山也亦あり也

東席山也亦あり也

高雲山也亦あり也

高雲山也亦あり也

高雲山也亦あり也

高雲山也亦あり也

高雲山也亦あり也

七

詠歌山

事わうと昇れ小先 楊 クシの花  
万七 一車候おもその山の秋のも  
冬あふれまとる小目に草す

然とえ山

度あふれまとる小目に草す

三さう山

度あふれまとる小目に草す

御川山

度あふれまとる小目に草す

雄乃山

度あふれまとる小目に草す

主門ち山

度あふれまとる小目に草す

巖代山

度あふれまとる小目に草す

岩代山

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

守りふさひもとてり

度あふれまとる小目に草す

はる朝あべ一 葛 麻

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

五七武せらうをよし入ふどゑもこまみぬ

度あふれまとる小目に草す

人衣山

度あふれまとる小目に草す

三うみ山

度あふれまとる小目に草す

里え山

度あふれまとる小目に草す

七郎乃巣

度あふれまとる小目に草す

宵乃山

度あふれまとる小目に草す

吹上乃巣

度あふれまとる小目に草す

ひくわせ冬

度あふれまとる小目に草す

うちのみ

度あふれまとる小目に草す

おらせ山

度あふれまとる小目に草す

ちくま山

度あふれまとる小目に草す

建前

度あふれまとる小目に草す

岩代山

度あふれまとる小目に草す

度あふれまとる小目に草す

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

山川

度あふれまとる小目に草す

うれしやくちより 法代の日 みのま

峰えぞよし山ふねをすすめ月

八十と三夜 真おとてね 二十九日  
行あいの夜

後代の後

又ハ後代のままでねねとそぞり山作

吹上井を廻る合 あら鳴らす合

も野

夫木入舟をすむとそぞりの奥の音の洞ともより

ゆうれい

鳥あ苦松里山杜作

五二三もあくもあくや岩代の舞を壁とぞ強ひて元

さみく風

刀三娘院はまくわきをまくと見越さん森木良がまくと赤人

紀乃冥

ふろ乃布くも歌と兵中百ひととより

とみ又ありこの海

とみ又ありこの海

白毛見冥

おうちまくはまくと見うととより

あた次の社

おまへまくはまくと見うととより

藤蔓高枝口

おまへまくはまくと見うととより

田中の井戸

おまへまくはまくと見うととより

ちひろの海

おまへまくはまくと見うととより

ちひろの海

おまへまくはまくと見うととより

紀乃海

おまへまくはまくと見うととより

紀乃海

おまへまくはまくと見うととより

ゆうれい

おまへまくはまくと見うととより

の山川 きの十四

ひとよひる 真もむかふ みよみよゑ  
東つれ海波うちれへがく霞す まよひて朝晴  
かくれ海 泰翁 うき晴りと薄り晴れ 風

はく

行きま さう 藤うねり うれし

泰翁 まよひ 月 あらうそ

まよが海乃御 まようとすめり

泰翁

かくれ海

泰翁

あらうそ

泰翁

まようとすめり

みよの海

泰翁

あらうそ

泰翁

まようとすめり

あらうそ

泰翁

あらうそ

泰翁

まようとすめり

岸松

タカスミ

岩立

岩立

岩代

タカスミ

岩立

名まへ川（川米長）の萬金を百せみからうあふえん

石手り川

或ハツヤマ川

玉川

山林桜澤日暮近に奥列

羅荒れと源の山接の三井奥の玉川のれ

ある豈乃玉川い毒あくもん心を便きつむき

さうて波川

支本、越ちるす完壁乃先空を

海国

紀乃川

高木、あく西、流れの川、わたり

かう乃宿と云あら玉町斗、小えび宿すり

も豈か三里なり不動坂と云へるて

義翁、底をひ逃のむ、休宵、紀の川づのいと

吉野主合紀の川の、金の源をも合

さく升

東西、懐升筒、までの、大屋

聖中、湯のみ

撲列、小口名より

赤寺、巣代の聖中、湯のみ、甚大、甚はぬ、極度をもけり

あら門の里

あら門、聖、あら、游浦

夫木、波音、あら、山、も、鹿、て、松、木、里、が、美、め、た、ふ、多、り、

鳴尾津

鳴尾の里、よそぞく社あり

名寄、くわん、傳の里、不復わも秋とくと、萬葉、中野、

ひ乃、麻宮

紀集、萬葉、山、あ、拂、ひ、三、毛、其、御、玉、ア、け、た、片、扇、の、え

山はト、スミ、三、リ

よ立、かう、升、廿

や、昇、か、安、ね、八、丁

若山、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

山中、す、山、中、一、リ、キ、ほ、る、坂、正、一、里、り

### ▲紀州和前山の大坂と道法

安松、かきの市、一、リ、（高松、木、通、内、松、一、社、

あり、な、す、り、東、の方、え、

佐世市場、見、深、十、八、丁、見、つ、て、あ、ひ、

見、深、の、だ、よ、（十八、丁、キ、む、深、あり、

岸、笛、や、づ、三、リ、石、ぼ、く、さ、く、へ、一、リ、

（あ、の、方、の、海、ヨ、リ、集、（松、原、五、字、北、（が、北、

勝、か、大、坂、三、リ、

（大、坂、す、り、京、を、サ、リ、

### ▲紀州國中名地出不

ま、皮、一、陈、皮、一、松、皮、一、楊、梅、一、墨、冬、酒、

和、才、ゆ、う、者、巡、令、酒、一、麦、粉、一、紀、伊、



化石桂去清从之

天正十一

服役中勢を補書

(天正十三三万三千石  
主事ス、伊豆守内守)

他田三重志の上種改

(内率と高井並用  
六万三千石)

松平家内を補忠政

(内率と高井並用  
四万八千石、主事改三男)

猪瀬莫門波を至清

(元和元年正月五日  
元和元年正月五日)

以東阿良門持か

▲ 俠路國分神社立社

伊弉諾社 津名郡立 高岡一官也

伊弉諾子神乃とすた罪て靈あぐりキ

あんくら是と以く幽冥を俠路國は作りく

寂れふあぐく涙れか一ミ日本紀

宿中奉の五年秋九月十八日天皇後詔云

特う(時)外林(外)外ふ傍(傍)と神號を布(布)き

毎日奉祀不至今(今)不思(思)フ

▲ 神階 天正元年正月廿七日一品 神階記

多賀院神

津名郡立 東神日女宮入(御州多  
須立天正年中)主守御内守勤侍

天満宮

須立天正年中主守御内守勤侍

八幡宮

君庭立城別男山八幡八幡侍

神宝

津名郡立 あくま三十石

法輪寺

吉宗三永

正福寺

曹洞六傳

清瀧山

同六傳

西光寺

津名中川村

光明山

同六傳

清聖寺

清聖(清聖)主守御内守勤侍

勝持水原

主守御内守勤侍

勝持の浦

主守御内守勤侍

東教父

東教父(東教父)主守御内守勤侍

清修院

清修院(清修院)主守御内守勤侍

正徳寺

正徳寺(正徳寺)主守御内守勤侍

あらがせと

甘木の屋れど、  
せとの岩屋

▲ 丹名取之社

多賀山

日本真地の傳ひへ 俠路修  
多賀山とあれある事少からず本て神と文安玉とまれ  
清聖水原 清聖(清聖)主守御内守勤侍

勝持水原

主守御内守勤侍

勝持の浦

主守御内守勤侍

東教父

東教父(東教父)主守御内守勤侍

清修院

清修院(清修院)主守御内守勤侍

正徳寺

正徳寺(正徳寺)主守御内守勤侍

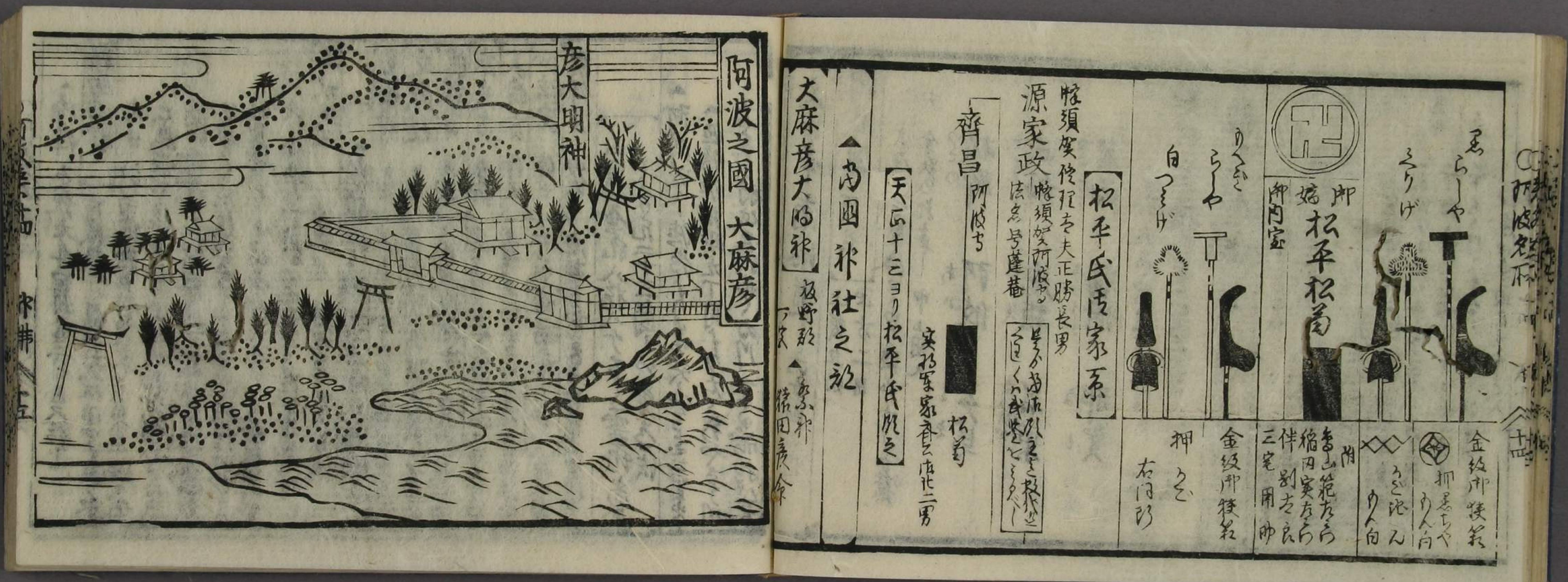
正徳寺

正徳寺(正徳寺)主守御内守勤侍

あらがせと

甘木の屋れど、  
せとの岩屋





一序後 矢報力年月廿三日正又後止

新田の詔

河汲船

後小松院

庵

年中 新田武義久を家宗長貞金正御元  
太典作名治達身主は直内若翁法より此  
國に攝属し河野及一様太辰得其事  
てゆく迄にかどりが財より代給に加え  
とせでどりてひふみくをへく改給のと  
詔ふ多りて新田公作と居しなまちや

牛以天王

植舟立

祇尼牛以天王也

支如寺

秀

天王

吳孟玄本多不動

元太師船

文殊院

天台

中里村

安樂院

曹洞

波波院

曹洞

大溪立

成就院

曹洞

東光院

曹洞

岩子修立

号弘生山

天王奉申延

高澤院

岸云

久保立

布施院

安阿彌仙

正法院

岸云

松村

西福寺

一向

新羽院

山伏

麻植立

本多十西教寺

香樹院

高圓院

八捨八ヶ

立雲寺

尚通

阿列院下

池原立

天王

次中院立

▲池原佐左町九丁目より北へ引やまう川

やまう村ひるにあく内川

▲支の勝村

久保立

本多の勝村

▲左第三所

▲左第三所

▲左第三所

二番

越摩

板壁船の本村

三番

金泉院

板壁船大古村

四番

大日寺

度像長三天

五番

大日寺

度像長三天

六番

安樂院

度像長三天

七番

十樂院

度像長三天

八番

地藏院

度像長三天

九番

安樂院

度像長三天

十番

十樂院

度像長三天

▲左第一所

十一番

十三所

▲左第一所

▲左第一所

▲左第一所

▲左第一所

▲左第一所

毛ノリ熊谷町 一里 金壁又毛ノリ

八番 熊谷町

一本木 丈夫 立原長安

船玉家

毛ノリ法輪寺 15段 十八丁

九番 法輪寺

直向寺

一本木 泰也

庄屋一尺守

船玉家

毛ノリ切込町 九五十一秋月村

十番 切落町

内波取町立村

一本木千木 忠佛

入師法化

毛ノリ山中毛ノリ毛子千里十ヶ所とらみ

十一番 麻糸町

麻糸船 東向

毛ノリ麻糸町 一里半

大作古船

毛ノリ梅山町

庄屋三尺

一里半引柳乃あそく大作の野路有る

十二番 梅山寺

庄西船

毛ノリ梅山町

三里山坂ありて高仰

十三番 一寅寺

名東船

毛ノリ平塚

毛ノリ十一面觀音忠佛

船玉家

毛ノリ常念寺

毛ノリ川西

毛ノリ常樂寺

名東船多令村

毛ノリ平塚

一本木新臺寺

名東船

毛ノリ新臺寺

毛ノリ平塚

一本木永平

毛ノリ平塚

一本木新臺寺

毛ノリ平塚

毛ノリ新臺寺

毛ノリ平塚

一本木井水寺

毛ノリ平塚

一本木井水寺

毛ノリ平塚

一本木立江寺

毛ノリ平塚

一本木地主

庄屋六尺

一本木地主

太保地主

毛ノリ地主 一本木地主 三里 一本木地主本村  
一本木地主 一本木地主 一本木地主 一本木地主  
一本木地主 一本木地主 一本木地主 一本木地主  
一本木地主 一本木地主 一本木地主 一本木地主

あらわすも奥へ境山のまほらふ一丈八尺より  
岩盤勝利山なりは山のむかひに御山と爲る

あり 金剛山 さくら山の御山の山なり

廿番

高林寺

勝浦郡の山の村の山なり

廿九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十番

大慈寺

勝浦郡の山の村の山なり

三十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十六番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十七番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十八番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

三十九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十六番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十七番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十八番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

四十九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十六番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十七番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十八番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

五十九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十六番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十七番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十八番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

六十九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十六番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十七番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十八番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

七十九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十六番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十七番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十八番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

八十九番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十一番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十二番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十三番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十四番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十五番

大慈院

勝浦郡の山の村の山なり

九十六番

大慈院

支那貝 カドナガリヤシ 実のカタチ

支那貝風吹て 丹汁 玉藻

佐多島の仲木をもつて海室をもつて貯年  
常とく候うて今を知らぬ候ふと云はば

阿波乃島 嘉魚を候り是人所居候

阿波乃小島 根木 要小物貯ム

高和浦 桜木 かくみ名石西あり

西より島毛を海上取扱

淡色圓中漆ケ島國様ミ十八里余  
接ヨリ太波國作浦と 大里余ニ

大波分阿列波浦と淡海の内大波

雲母壁に接接而後處也灰黑不文く取  
扱ひ之い渡りやう矣可お尋浦在八里

同波分丸島へ波浦有り其の後外の角  
山有子也

▲阿波國中危物出所

接害船膜底一縫石 次打場と云々 拣木

錦木 拣木 麻尾簾 一縫門 扱布

▲右阿波國分以上

大日本南海道 六ヶ國之内

太波國 [古州] 中後七段

太波又報純熟ト良材事ト中上國

太波 古川 高國 神木

長國 烟鴉 香夷

田畠六百七十三丁

知りる廿万二千六百廿七石

土佐郡 高知御城主 五百分

松平太波中豐源

逆江修井サニ万二千石

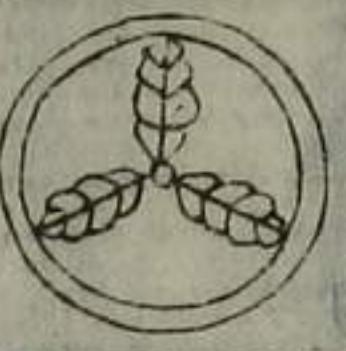
御内室松平太波久井政始

深尾相模山内有高日是物

久井弘人

足折

脚尾一丸 上半之一の内



二



松平正房對馬豊熙嫡豊熙

附

松平氏御家系

大職冠謙公後胤謙守府將軍武藏守秀卿十代  
備山内形於丞後通十四代族

藤原久豊

丹波三宮城主

豊資

古佐吉

豊熙

対馬守

女子

上杉萬千代室

慶長ヨリ松平氏外之

高知新田御領 <small>山内遠江守</small>	豊賀 <small>山内遠江守</small>	高知新田御領 <small>山内遠江守</small>	豊熙 <small>対馬守</small>
一	二	三	四
鉢 <small>上あさみ</small>	鉢 <small>古川丁</small>	鉢 <small>古川丁</small>	鉢 <small>古川丁</small>
舟 <small>の先</small>	舟 <small>の先</small>	舟 <small>の先</small>	舟 <small>の先</small>
轡 <small>まく付</small>	轡 <small>まく付</small>	轡 <small>まく付</small>	轡 <small>まく付</small>
鞍 <small>さかづき</small>	鞍 <small>さかづき</small>	鞍 <small>さかづき</small>	鞍 <small>さかづき</small>
馬 <small>のくら</small>	馬 <small>のくら</small>	馬 <small>のくら</small>	馬 <small>のくら</small>

舊

古佐吉

高知

新田

御領

山内

遠江守

豊賀

対馬守

云依大御作

云依

國守御社

大御作

一宮村

高知

國守御社

大御作

是味

御作

御作

御作

參拜作

參拜

高勝大御作

高勝

大御作

是味

御作

御作

御作

御作

御作

御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

天智天皇御作

大御作

大御作

天智天皇御作

天智

天智天皇御作

卅六番	一宮寺	吉尾村一宮村 平地 南西
一	左も阿波守	秘佛 佐志多
二	左も阿波守	秘佛 大作也
三	左も阿波守	秘佛 大作也
四	左も阿波守	秘佛 大作也
五	左も阿波守	秘佛 大作也
六	左も阿波守	秘佛 大作也
七	左も阿波守	秘佛 大作也
八	左も阿波守	秘佛 大作也
九	左も阿波守	秘佛 大作也
十	左も阿波守	秘佛 大作也
十一	左も阿波守	秘佛 大作也
十二	左も阿波守	秘佛 大作也
十三	左も阿波守	秘佛 大作也
十四	左も阿波守	秘佛 大作也
十五	左も阿波守	秘佛 大作也
十六	左も阿波守	秘佛 大作也
十七	左も阿波守	秘佛 大作也
十八	左も阿波守	秘佛 大作也
十九	左も阿波守	秘佛 大作也
二十	左も阿波守	秘佛 大作也
廿一	左も阿波守	秘佛 大作也
廿二	左も阿波守	秘佛 大作也
廿三	左も阿波守	秘佛 大作也
廿四	左も阿波守	秘佛 大作也
廿五	左も阿波守	秘佛 大作也
廿六	左も阿波守	秘佛 大作也
廿七	左も阿波守	秘佛 大作也
廿八	左も阿波守	秘佛 大作也
廿九	左も阿波守	秘佛 大作也
三十	左も阿波守	秘佛 大作也
卅一	左も阿波守	秘佛 大作也
卅二	左も阿波守	秘佛 大作也
卅三	左も阿波守	秘佛 大作也
卅四	左も阿波守	秘佛 大作也
卅五	左も阿波守	秘佛 大作也
卅六	左も阿波守	秘佛 大作也

▲ ある 東原 祓佈 乃基化

是よりまをあると 三里半 ▲ 稲浪浦八海也

世六齋

まを就る

まを祓村 山主妻也

▲ ある 不動 祓佈 大師也

笠よりに舟向もで 十三里 一宿一更元

より後段とあよ三里を渡り一里へ

るまうたふ牧の野

又ハ佐ミ中ノ後

と中あり ▲ 出刀ノ村在山腰也

所ノ十三室あれ

村裏右後也

世六齋

仁井田又社

高居仍ニうち有業亦向

▲ ある 仁井田 無業也

又ハ佐ミ中ノ後

出刀ノ村と六室一宿あり

又ハ佐ミ中ノ後

又ハ佐ミ中ノ後

七二

▲ 大作國中名所考

玄武山

乃美集 三吉郎

秋扇六月の小舟をまた朝日月の遊観也

云作の海

東あみ乃浦とどうと云ひ舊り

名越山

桜山

大橋

毒ね

美郎

梅列名木の御山也

家乃戸

高木山

弘法原

暖川

佐々木の山と我まちの山の波風森白湯也

名木集

名木集也うそて桑木をかわ

當四名物出所

駒

鷲攻世 俊 四山猿 金 鐘節 あら

同社引

同かすも 俊圓 俊圓 流圓 海莊

色紙

茶袋絵巻也 三月三日正午に海庄

櫻枝

西岸の傍生也 二月三月正午に櫻枝

脚松

脚松 三月三日正午に脚松也

鳴松

鳴松 二月三月正午に鳴松也

鳴板

鳴板 声板

鳴板

鳴板 二月三月正午に鳴板也

▲ 大作國中名所考

伊豫國 稲呂

上卷十正於

1月2日

不野田烟多一

素麻屋毛豆子也

大中國 紫

1月2日

新居 宇摩

周敷

素村

越智

野間 風早 和氣

久米

波穴

温泉 伊豫 東美 宇和

東美

宇和

知れども 世八万千六百匹捨石

因教主方にあ八百七十

西條御城主

1月2日 二百五

松平左京太夫頼裕

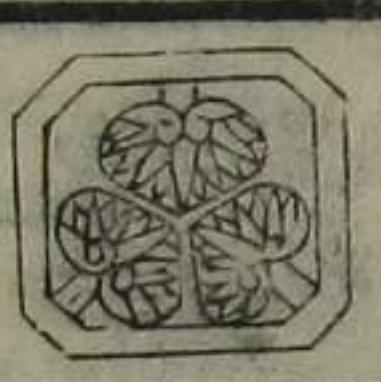
長野隼人頭  
葛源郡左京

三万石

筑紫丹波

内室太保加賀守妹

上喜山百人 下喜山  
喜山・京宝町入糸上・大坂屋





二本



金紋唐模架

山



押



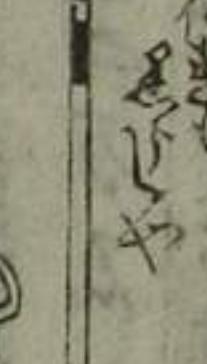
押



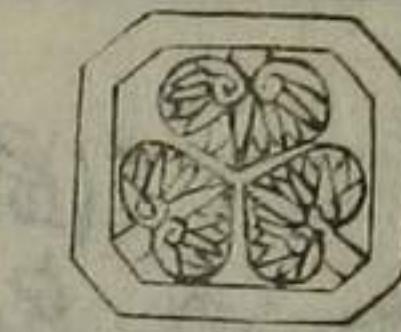
押



押



押



店家系の紀州家と一系  
寛文年中より以て

### 松山御城主

戸々二百十八り三丁

### 松平隱岐守定通

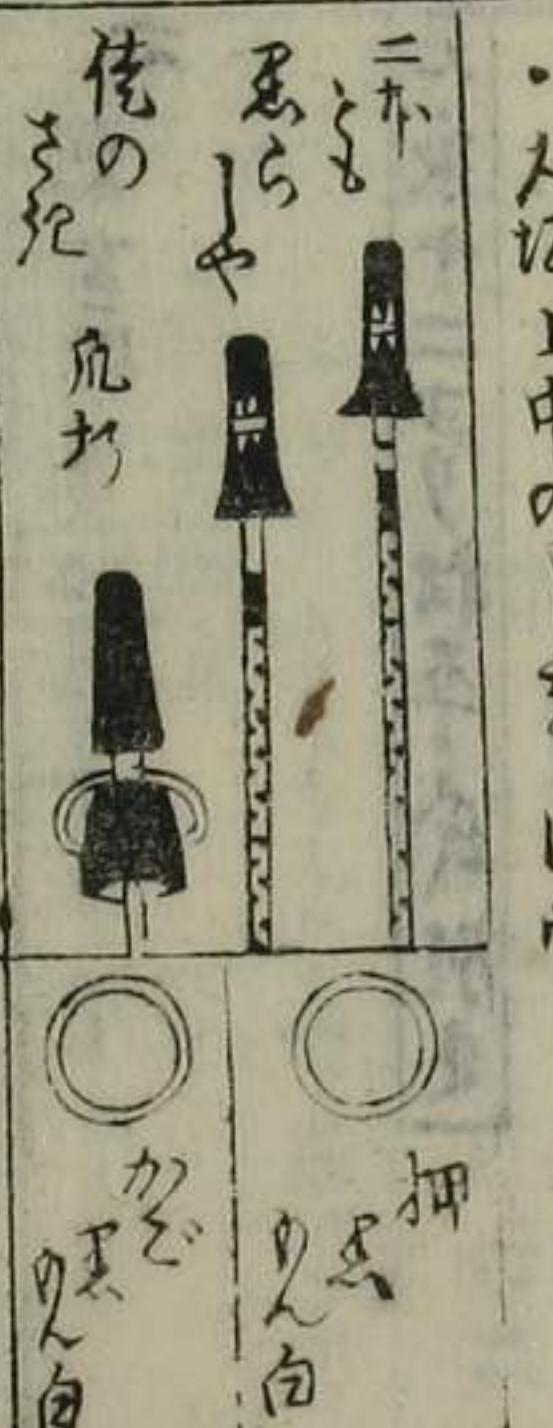
十十五万石

奥平蔵古弓  
長沼吉宗

竹内冬吉

接四位侍後  
唐室因安大納言唐皇女

角やーーき



脚  
背

脚  
背

脚  
背

將軍家康云神奈井  
松平忠勝

素名ある

此の内は外見上等と云ふ

接四位

寛永十二ヨリ松平氏以立

戸々二百七

### 今治御城主

戸々二百七

松平采女正定監

服部伊織

戸内密松平因防守株

内  
外記

### 定通

源定勝

接四位

松平采女正定監

服部伊織

松平忠勝

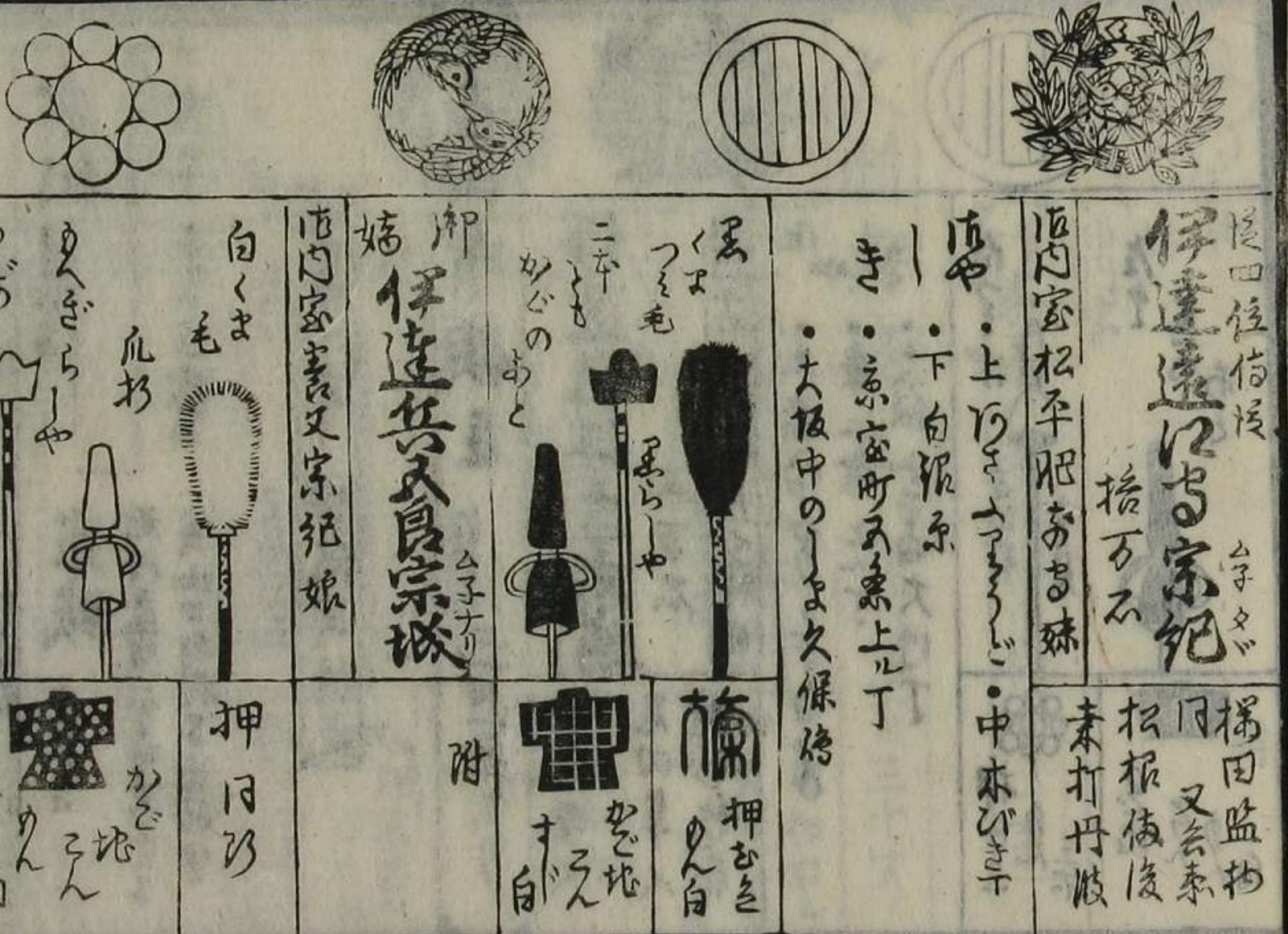
服部伊織

内  
外記

内  
外記

通鑑卷之十四  
樊下

伊達氏御家系



寛永十二ヨリ松平氏歟

一定之規

於家廟不虛舍也  
素名也招宣勝又因

卷之三

卷之二

源定房

校平錄

是の如きは既と較べて  
之をくわ哉鑒と云ふ

松平氏医家系

卷之二

卷之三

卷之三

五  
也

2

もととらや  
のまん  
かどくろ

打うちき  
白からん  
かどくら

活  
上き下  
・下  
・太坂中の  
・西行

仙臺中納言政宗長男

藤原秀宗

伊達遠江守

子孫代々守護

武鑑と云ふ

宗紀

三五言

女子書ふ宗城室

始伊達強ニ壽光考子

実山口お母ち也勝男

妻長十九ヨリ伊達氏以之

吉田御領主

内戸下二百七十又リ

伊達紀伊守宗義

伊達要人

内戸下三万石

尾田隼人

五・上南八丁・下白木

熊谷新発

五・京二束・上九丁

大内草人

白木三枝・さかの

押切

白木三枝・さかの

押切



御  
内戸下

附

臣家系ハ宇和傳吉誠立ト一系

大洲御城主

内戸下二百三十一

加藤遠江守泰幹

大橋作左衛門

内戸下六万石

加友吉蕃

五・上十石・下白木

大橋作左衛門

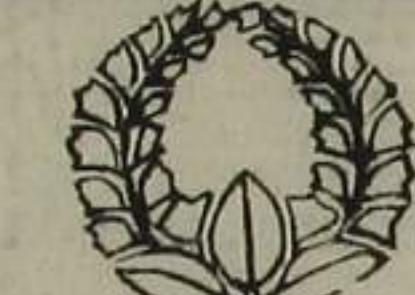
五・下白木

加友吉蕃



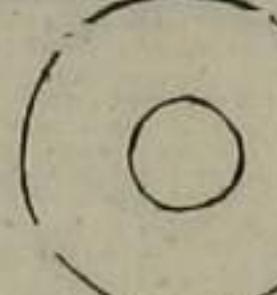
御内戸下

附



御内戸下

附



御内戸下

附

藤原光泰

妻にち

加友吉蕃景泰男

内戸下百石

加藤氏御家系

内戸下百石

泰幹 まはる

元和三ヨリ 加茂氏以之

薪谷御領主 に戸八二百二十リ

加藤彦三進泰糧 一萬石ヤスダ 加茂弘人

内官 伊豆ノ内

御庭ホウジ 一戸 上御神カミガミ 下みの二

馬頭ハマヅチ 一戸 伊豆ノ内 加茂弘人

御庭ホウジ 一戸 伊豆ノ内 加茂弘人

内官 嫁

小松御領主 に戸八二百九十四十三丁

一柳美濃ち損羽ヨリカ 五万石

内官 秋月山体タケシマ 嫁

内官 秋月山体タケシマ 嫁

喜多門金人

内官 秋月山体タケシマ 嫁



嫁

内官

附

内官 秋月山体タケシマ 嫁

内官 大山祇社タケシマ 嫁

大山祇社タケシマ 嫁

内官

附

内官 大山祇社タケシマ 嫁

内官

附

内官 大山祇社タケシマ 嫁

内官

附

内官 大山祇社タケシマ 嫁

内官

附





「高沖水野村小高山の山中より中川と  
そびく張河の巻木をもずして流れる山川の  
けさすくろ出でひ物私見れを乞ひて西  
くらにおりて志がくゆめむるかよ  
て因みたうめ虫走れを底ちてめり

四十六番 潤福院淳元郡津守村五郷東高

▲なる 茶跡 秘傳 行基作

毛より八坂五十

四十七番 八坂寺

淳元郡八坂村 幸徳東向

▲山名 何弘道 宝應去三尺 忠心陀

えりりあ林毛そぞ

▲毛毛村 大原堂毛村の毛に石萬三郎の毛父の

孫毛名古井源承小高・小村(大河)毛

四十八番 西林淳元郡津守村毛山向

毛毛十二丈 立緣去三尺 大師 流記

毛毛津毛毛せ毛丁・云井村小川二座毛

四十九番 岸云寺

淳元郡津守村後山毛面

▲毛毛 根也 松佈 行基作

毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

五十番 麦家淳元郡

淳元郡津守村毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

▲毛毛 茶跡 無縫去三尺 行基作

毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

牛番 石出寺

済安郡石出村 毛山東向

▲牛番 菩薩 坐像去三尺 行基作

毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

五十三番 高妙寺

本丸郡高瀬村牛毛毛毛

年次表

鳥取

三

▲ かき 弥佐ミサ 無縫ムシメ 長貳ナガミ す 乃基化

材木町場ありてうちへ飯糰ミソツ 本大師堂

▲ あさみ村番所を切り改び ▲ 縣村  
定ふね山れの邊より十里と云一里幅を

卒生番マツジハシ 遵命スンメイ

▲ かき 不動 坐像 二尺 乃基化

これら別より一里 ▲ 乞ミハ三箇ミツカノま  
乃あれモレし之傳ミツテハ此コトニセキ後アフタヒ

卒生番マツジハシ 三徳宮ミツカツノミコトノミコトノミコトノミコトノミコト

▲ かき 大通脇勝オトコハラタケル 三徳ミツカツハ御社記入

乞ミより參ミマるを一里半 ▲ 左シタハ今後アフタ城下

卒生番マツジハシ 三徳宮ミツカツノミコトノミコトノミコトノミコトノミコト

▲ かき 挑ミタケ 坐像 三丈字 大原鹿鳴

乞ミより腰ウエスト十丁 ▲ 鹿鳴川スヌカニグサカワノ

卒生番マツジハシ 八幡宮ハチマンノミコト

▲ かき 何孫ナムコ 神佛ジンボク 依名ヨウメイ

乞ミより佐礼サツル 千丁 ▲ 山サン左シタ山坂サンザン 佐サとシタ山

卒生番マツジハシ 佐礼山サツルサン

▲ かき 千年 三徳ミツカツ也 守ムツ不ムツ守ムツ

乞ミより國分クニブと 一里 ▲ 佐サ野ノ小川コシを

卒生番マツジハシ 國分クニブ

伏野郡フノクニ五分村ゴボン 山サン上ウエ面マツ 佐サとシタ山

卒生番マツジハシ 蔵師カズシ

▲ かき 大原 坐像 出口シマツ 乃基化

卒生番マツジハシ 一ノ宮イチノミヤ

用ヨウ參ミマ御ヨウ祭セイ奉ヨウ奉ヨウ 乃基化

卒生番マツジハシ 十一面イチイナフ

立彌タチミ也 天子テンシ 扶太フタ氣キ 乃基化

卒生番マツジハシ 吉祥ヨシザク

新屋敷シンヤシキ 水又ミタケ村ムラ東ヒタチ也

卒生番マツジハシ 四方シキチ門モン

坐像 二尺 大原オトコハラ 佐サとシタ山

卒生番マツジハシ 里翁リヤウ神ジン

阿彌アミ也 乃基化

彦星ヒカツ也 佐サとシタ山サン乃ノあれモレり

あれモレ石シ越カス山サン也 作ハサウ也 藤タケ也

お乃オノ根ネ也 作ハサウ也 二丁ニチのノ石シ越カス山サン也

多タカ井イ也 石シ越カス山サン也 九ク里リトトくクいイ也

也 井イ也 石シ越カス山サン也 九ク里リトトくク也

也 九ク里リ也 石シ越カス山サン也 九ク里リ也

也 九ク里リ也 石シ越カス山サン也 九ク里リ也

松の木見山から三角方向十里皆村  
里宿を大町と云ふ了小西条下  
卒多岐

十一面

二角寺

白麻船

袁东の

是より雲見山と云ふ里。二角山から  
奥院と云ふ下坂をばかずく乃  
因縁あり引脚川へ進み西筋のみ  
太二十六字所以と保らぬうかり

△伊豫列島名所

夫乃嶺山									
夫乃嶺山									
夫乃嶺山									
夫乃嶺山									
夫乃嶺山									

△古國名物出處

平夏	胡麻	豆腐	豆豉	素麵	松葉
紫草	蘿蔔	大油	豆豉	豆豉	豆豉
安石	豆豉	蘿蔔	豆豉	豆豉	豆豉
佐藤	豆豉	豆豉	豆豉	豆豉	豆豉
本	豆豉	豆豉	豆豉	豆豉	豆豉

△右付豫園名物以上

大日本南海道 六ヶ國の内

徳波國

徳波

上卷十一部

東西三日

山川	田島	白等	ス	穀	之	魚貝
大内	寒川	三本	山田	山田	山田	山田
香川	阿野	移里	那珂	那珂	那珂	那珂
多伎	三野	刈田				
田代	十九百四十二丁					
都	七万千八百十五石					

## 高松内城主

八百七十カリ本

松平潤政も頼忍

ヨリヒロ

大久保義弘

ハ

御内家

接二万石

中山ある多臣

上小石川庄門内・中門下  
や・下向より九丁目・下え矢の糸  
き・下小一門下うけのを  
・承上兵十門は小後あへ  
・大坂市あへ

庇れ

筆

金枝



## 京極氏御家系

宇多天皇九代佐々木源三秀美五代  
近にち氏伝佐々木源流本十七代

源高吉

京極  
長つる

姓名内院殿主を一族代立  
位更り吉豊と名む

高朗

長つる

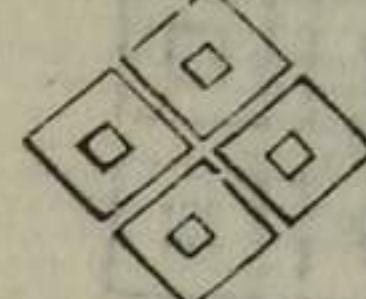
女子京極内院室

万治元年ヨリ京極氏以之

多度津伊領主おもて百八十石リ

京極壹岐守高賢

タカヒコ  
林直記



内内志

至万石

伊一ノ上・下白

あさひ・さす  
しらゆき

馬

ウシ  
ウシ

伊一ノ江・上あさひ・下本

あさひ  
ほん

馬

ウシ  
ウシ

伊一ノ江・下白

あさひ  
しらゆき

馬

ウシ  
ウシ

伊家系ハ九郎殿主ト同ド

▲西園神社之物

田村社

喜川殿主 西園一家之

▲索祚

織田義介

白峯神

招請立索祚 崇徳院

白峯神

招請立索祚 崇徳院

人室七十八代の天子え後室の御内院才一の法事  
律の御仁母の中宮若御内院は御内院門院  
と号し保元小直母と傳ひせらひ皇室より  
之を出家とあらせめりと漢波小直母  
ある二条院承寛二年八月御別室  
崩歿法事に十六白峯小直母をもと保  
元御後五代一後ホニ洋入

白峯神

祭列あり

▲祭神 日下武彦

素戔天皇の御子東夷征伐の脅切主

伊勢大河内 法陵西山 三陵と白争  
の法陵と号し す外布く ふ異迹あり  
▲回証ふ云日かまきる乃美はして白居と  
玉門てあふれど漢城よ止と云神社考

龜尾莊桂現 金ひふ三社以三百廿九別院  
八栗大明作 八栗之五号八栗古 日 美云

弘法大师篆刻用基經書和寫ト云

### ▲ 南圓佛閣之船

菩提さ

あとのくみと きめくめのくみと す構ると号し

志度の瓦場上西海人うれと造と云

金屋寺院さ

金松

波田

觀光さ

同

波田

寔ねあ

林宗

金松

波田

灵源さ

日

金松

波田

宝瓶さ

峰云

金松

波田

法施さ

日

金松

波田

車掌四方

山面をり

圓鏡さ

岸ち

金松

波田

光明さ

一向

金松

波田

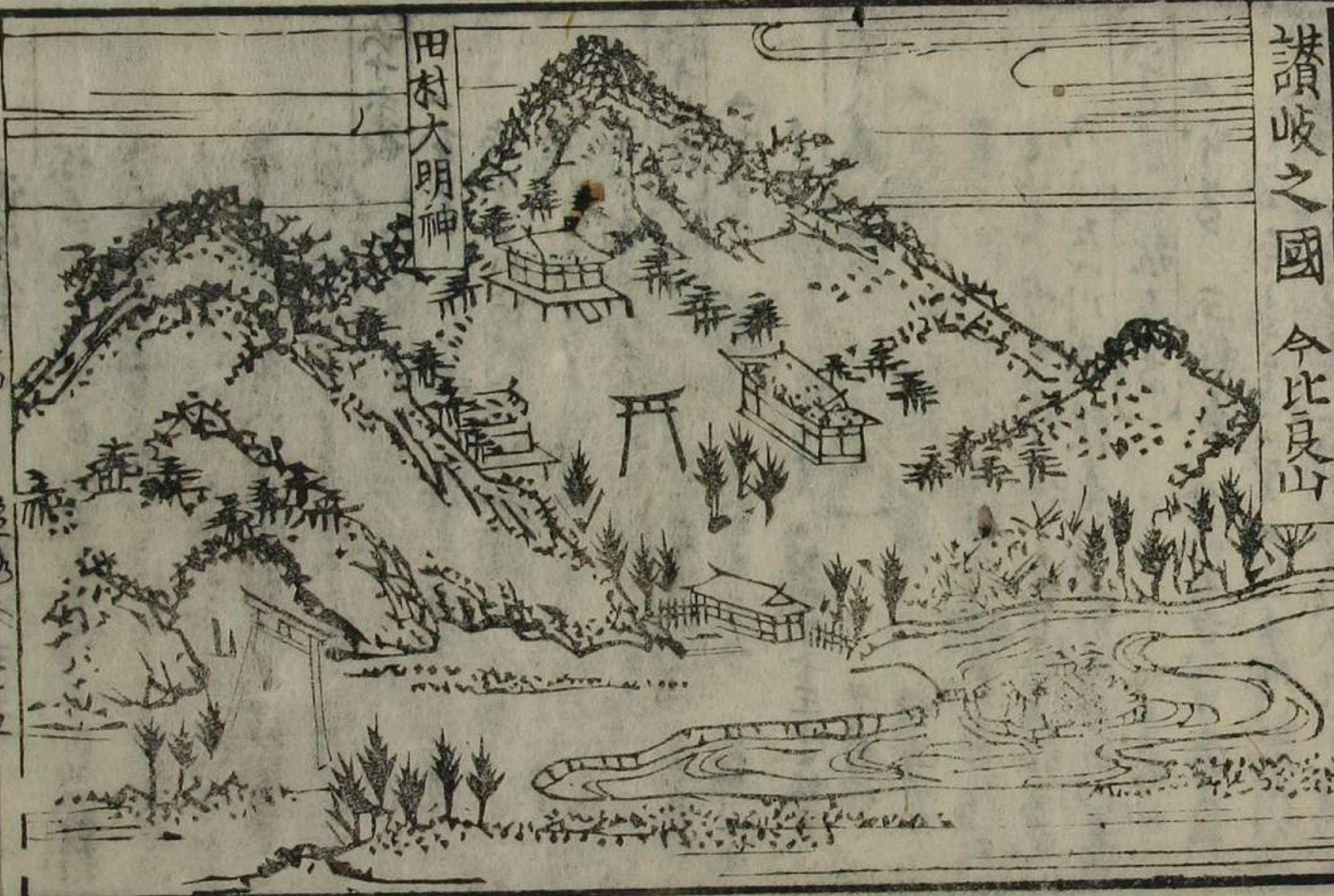
大中さ

法印

金松

波田

▲正圓鏡酒八十八ヶ所の内南至  
五ノ廿三ヶ所の近舟



讃岐之國 今比良山

移きのむ村と云小坂と云作小引列所

乃悅き大坂と名く是も雲多手

少で二里の坂のみ一木の村北産堂

并に馬列姿不を行本切を改じ

因るに渋色も高云色も人頭又十丁

卒麥卒麥 卒麥 三木於木村前向

一卒麦卒麥 十一西 立傳寺三支寺 奈良北

右代あへ所坂伴は後段三個乃まうひ

宿乃松主らさまえりか松井後列札

玉教小金石是より小松尾と三里半

六十七麦小松尾山 一点堂西野辺村 営本向

一卒麦卒麥 菓原 坐像大元寺 大原御

毛公契引と二里杜麻 小十王堂坂三十

卒八麦琴引八幡宮 松原

一卒麦阿弥陀 順佛 俗志かか

是分報焉も二丁山不乃晚金蓋湖天

と一乞少て坐佛山不乃太ハスの

八段石川漆瓶吉町山行坂文経と並

卒九麦就焉 坐像大元寺 大原御

一卒麦正觀寺 坐像大元寺 大原御

是分報焉も二丁山不乃晚金蓋湖天

三節級大原御 常有向

七十麦跡焉 三節級大原御 常有向

七十麦跡焉 三節級大原御 常有向

七十麦跡焉 三節級大原御 常有向

七十麦跡焉 三節級大原御 常有向

後漢書卷之三十一

三十六

成ゆ天皇也ア達ミ究海ノ叶誕生  
院ト号ナガヨリ歎也蓋ノニモ大師也  
先ナリ全食ちト世ト一食民瘦ヘガル

は五ノ町のと重ねて一里也 横石町  
今義村 平地 東西四  
三面出二段付 魚尾形

一  
七十  
通  
七十七  
妻  
通  
七十七  
妻  
通

立候處二尺余大而肥  
先よりを隔てて一里半へ入る所也

卷之三

七十力盡  
六月十一酉  
立德去元寺  
從志而歸

乞うち四分ち  
一里中  
あや川  
梨さき  
行處  
飛雲  
村  
轟  
有内

乞ひ白峯ちと平下ひらげ  
トアゲトウラガニミ  
八十一處やの歌うたを詠よふ 山上伸白やまじょう しら

一  
本居宣長 十年  
嘉慶三年  
化志集

乞ふ板本ちと又町  
山中を入るの意アリ  
行方、船上に寝むる

三尺八寸  
大内西偏

十二書  
中等  
正筋毫 立幅三尺半  
大師  
是ち處邊りと三里  
但心生山が不當

ヘ一毛ち登鷹ちと二里守又毛松林下  
引へ一毛ち登鷹ちと四里▲大回村、鷹  
毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

八千石  
貯鴉古  
山田郡登原  
山之南也  
坐知二天  
大原重光

是より八栗もと一里  
丁より蘇フモト不波爰以候乃廟也至能主  
より多文少力乃切石之體也

主と小又尺乃石碑主碑乃据主古又  
獨乃後もあり後小松院乃源亨主連元  
年元月育小貞列ノリ祐義氏族也  
山門や後とつる神教山參也清本之  
田向湯作にてひく  
痛りや病乃令と次收りて乃在へ者を承るべく

皆ひよを金の乗太刀と持て社名美次役

墓地内より参りまつる。金持車船作成

尼トテクシマリ左帝女院幸徳の内事  
祭主は玉と酒と名前酒と酒乃酒と名

又忠引の様とく、お西より酒もちも西  
乃蘇とめりゆきとく、御中を主そんち合  
たがひみ引き取り以海ニ町をうり近らく

主を市と市が約三石又いのり石とく、あり  
を有物ふもとに乃嘗かうて罪者帝  
酒地主あへ也。次役う射者とされ、不善

我理此を支拂と云居る乃墓あり或を  
さへれか為切水井ふ見生し主て源氏  
乃が件下ありモ外因縁翠すく、東

西名へせれ村と云西門わやうす千代  
一卒三。千卒 立候ス尺 大麻追化  
是へり志摩のまで一里半一村の尾の町と  
はやまと一日移采かに因き寛和を洞て

八十六番 志度ち

多門船 嘉和向

五十五番 十一面 金蘇天寺主とく銀主の

是が去尾と一里、云竹村又ゆ村

八十七番 長尾る

多門船と尾村主尾も四

五十八番 八栗ある

吉川船と賀村主高

五十九番 千卒 立候ス尺 大麻追化

是へり志摩のまで一里半一村の尾の町と  
はやまと一日移采かに因き寛和を洞て

八十八番 大久保ち

多門船 大坂

本多 茶所

多門船 大坂

是へり志摩十面切櫻主と云室、金蘇村  
へを里是と櫻井乃らし、大舟村これ

より酒波と云、今乃ち村ひづ名村  
獨列より墨西玉切主改む、大舟から  
是主を山鷹谷門あまごと見切主を

もと一里、右是と云所櫻波金也

阿列 丸十三所 金蘇半七重空三工

四分  
云列 丸十六所 金蘇半七重空三工

四分

豫列 丸二十所 金蘇半十九重

四分

後列 丸三十所 金蘇半六里半

四分

道旁敷三百四里半

四分

往者大津流急急乃遊湯四百半里  
と多く、摸乃ノ佛相と云めぐり移行  
を今木根御六十八ヶ乃れ木根と云

一瀬波圓沖名所と船

鷹川山 鹰圓流名所と車

財寫

麻

參入すにて來たものあるまじきをば

経市山

第乃山

松浦

あみ浦

油井役

糸々浦

そぞらの尾

屏風浦

琴引ノ松

▲

後波國船名物記

香度

石船

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

△後波國船名物記

香度

石船

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

鮎

447946

